



らぶっく

# La・Book

1月号

No.163



謹賀新年

今年もよろしくお願いいたします



## 祝！豊科図書館「開館15周年」

令和8(2026)年2月11日、豊科図書館は開館15周年を迎えます。現在の豊科図書館は2011(平成23)年に交流学习センター「きぼう」のオープンとともに開館しました。開館以来、多くの皆様にマナーよくご利用いただいたり、イベントにご参加いただいたり、多くの方々に多数の本をご寄贈いただいたりして、豊科図書館に対する温かなご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

豊科図書館の歴史をたどると、古くは、1910(明治43)年、県下で3番目に古い図書館(小諸図書館・長野南図書館に次ぐ図書館)として、旧豊科小学校内(現吉野神社南)に創立されました。現在の豊科図書館は、旧豊科図書館の開館からちょうど100年が過ぎ、101年目にスタートしました。

開館に至るまでの経緯は、2005(平成17)年の5町村合併、安曇野市誕生に伴う図書館環境の整備に始まります。2008(平成20)年、第一次安曇野市総合計画において「図書館を核とした交流学习施設の整備」が基本施策の一つに掲げられ、「2011(平成23)年豊科交流学习センター『きぼう』内に豊科図書館を移設開館」が決定しました。

2009(平成21)年に豊科交流学习センターの起工式が行われ、予定通り2011(平成23)年に開館となりました。15周年を迎えた現在、市民の皆様への質の高い情報の提供、生涯学習の中核としての『学び』への支援を大切に、市民の皆様と共に創る学びの文化や心温かな図書館創りに努めております。今後とも、多くの皆様にご利用をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

1910(明43)年	旧豊科小学校内に創立
1920(大9)年	明治記念図書館と改称
1948(昭23)年	公民館設置に伴い、公民館図書部に移管
1952(昭27)年	豊科駅前通りの豊科自治警察署の庁舎を利用して、郡下唯一の常設図書館として開館
1967(昭42)年	役場前の新設公民館に図書館が併設
1968(昭43)年	公民館図書部から独立し「豊科町立図書館」と改称
2005(平17)年	5町村合併、安曇野市誕生
2008(平20)年	第1次安曇野市総合計画「図書館を核とした交流学习施設の整備」を掲げる
2011(平23)年	現在の豊科図書館開館

## ☆おはなし会☆ 安曇野市図書館2月のイベント予定

開催図書館	おはなし会名(対象)	開催日/時間等
中央	おはなしのとびら(乳幼児以上)	4.18.25日(毎水)/10:30~
豊科	おはなしたんぽぽ(乳幼児以上)	20日(金)/11:00~
三郷	ポケットの会(乳幼児以上)	14日(土)/10:30~
	おはなし会(乳幼児以上)	26日(木)/11:00~
堀金	おはなしのへや(乳幼児以上)	17日(火)/11:00~
	おりがみのへや(幼児以上)	25日(水)/16:30~
明科	おはなしひまわり(乳幼児以上)	28日(土)/11:00~

### ◆講座など◆

会場・お問合せ先	講座名	開催日時等
中央図書館(みらい)	3市(松本・塩尻・安曇野)図書館連携展示 テーマは「ロケ地」	1/31(土)~2/26(木)
	映画上映会 スーパ・オペラ 約119分・2010年	2/13(金) 開演:18:00(開場:17:30) 対象:一般(無料)定員:100人
	~おはなしとしょかん特別版~ 絵本作家 まるやまあやこさんと おはなしいっぱい♪	2/14(土)10:00~11:30 対象:年長、小学校1・2年生親子 定員:20組(無料)申込:1/27(火)~
	大人のためのものづくり講座 「桃の節句の一輪挿し」 講師:岡江 伸子さん(いいな安曇野花サロン代表)	2/18(水)13:30~15:00 対象:高校生以上 費用:500円 定員:10組先着順 申込:1/27(火)~
三郷図書館(ゆりのき)	公民館協働講座 「親子で絵本を楽しもう」 講師:波場 優梨香さん (三郷図書館、NPO法人「絵本で子育て」センター絵本講師)	2/6(金)10:30~11:30 対象:未就学児親子(無料) 申込:不要

## 中央図書館から

### 本のソムリエ(司書)おすすめ本

#### 一般書 『小さな鉄道 小さな温泉』

大原利雄／著 株式会社小学館



日本各地の海や山、そして温泉へ、ローカル線に乗ってのんびりと旅した記録を凝縮した一冊です。「長野電鉄長野線と湯田中温泉」「しなの鉄道と布引観音温泉」をはじめ、青森県から山口県まで、その土地土地で出会ったものを丁寧に描いています。鈍行列車でのんびりと出かけ、ぶらぶらと気の向くままに散策し、ゆっくり湯に浸かる…。そんなゆる～い旅も魅力的ですね。

#### 児童書 『きょうのぼくはどこまでだってはしれるよ』

荒井良二／著 NHK 出版



お祝いの日馬の“あさやけ”にのって走るぼくは、町へ向かう途中で様々な喜びと出会います。人形を作ってお店を出す子、猫を拾った子、町でオルガンを弾く子…。日々の中にはたくさんの喜びがあふれていて、繋がり、大きな幸せになります。鮮やかな色彩が美しい、子どもから大人まで楽しめる絵本です。

2026年は午年です。馬が活躍する絵本をぜひ読んでみてください。

### 12月の貸出ランキング

#### 一般書

- 1 聖女の救済／東野圭吾
- 2 カフネ／著部暁子
- 3 コンビニ人間／村田沙耶香

#### 児童書

- 1 きれてる ?と!のえほん 2／鈴木のりたけ
- 2 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 3 100にんのサンタクロースの12かげつ／谷口智則

#### AV資料

- 1 アバター／ジェームズ・キャメロン
- 2 黒部の太陽／熊井啓
- 3 ふしぎ駄菓子屋銭天堂 6巻／紅子、旅に出る／富岡聡

## 豊科図書館

### 奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

#### 『松本だるまについて知りたい』

「松本だるま」を知っていますか？  
正月の縁起物として松本地域に古くから伝わるだるまで、ふさふさの太いまゆ毛とまんまるのひげをたくわえたユーモラスな表情が特徴です。江戸時代から養蚕が盛んだった松本地域では、繭に見立てて黒く染めた麻のまゆ毛とひげをだるまに張りつけました。これは繭の豊作や蚕が病気になるようにという願いが込められています。また、だるまの正面に書かれている『大当(おおあたり)』の文字も、蚕の繭がたくさんとれる「当たり年」になることを祈願して書かれたものです。大当と入れているのは松本だるまだけです。

養蚕の衰退や作り手の減少などもあり、昔よりも松本だるまの生産量は減っていますが、根強い人気があり現在も販売されています。

#### 【参考資料】

- ・こちらタイムス調査隊 I N070 コ I (市民タイムス連載記事切り抜き)
- ・長野県の諸職 長野県教育委員会／編 N750 ナ
- ・松本十二か月 伊藤まさこ／著 文化学園文化出版局 N233 イ
- ・開運だるま大百科 中村浩訳／編著 日貿出版社 387 ナ

### 【1月の企画(テーマ)展示】

#### ◎全館共通

予定ありません

#### ○各館

図書館	一般書	児童書
中央	天下を取る(三英傑)	千支うま
豊科	豊科北中学校 POP 紹介	はつわらい
三郷	戦国時代!	つめたいゆき ふしぎなおこり
堀金	丙午	毛糸
明科	走る	一年のはじまり

#### 編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111  
豊科図書館 ☎71-4022  
三郷図書館 ☎76-3078  
堀金図書館 ☎72-3601  
明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます))  
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>



おしるを安願取てには見んだ心をでも澄ま8とう明  
りますま曇野つづり長く渡心りも長も澄ま8とう明  
ますよりしくお組めくビだ汚年可も澄ま8とう明  
お待の各のる時目年可も澄ま8とう明  
ちの各のる時目年可も澄ま8とう明  
して来館物に社を澄ま8とう明  
る館たに時を会を澄ま8とう明

※編集後記※

★文字の読書が困難な方は、図書館へご相談ください★